



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.5060	休場	3.5520	3.5270	3.5290	+0.0020
	BRL/JPY	Spot	31.18	休場	30.93	30.97	30.92	-0.05
	EUR/USD	Spot	1.2077	1.1992	1.1951	1.1988	1.1961	-0.0027
	USD/JPY	Spot	109.31	109.86	109.84	109.23	109.12	-0.11
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.209	休場	6.221	6.237	6.223	-0.015
	Future	1Year(p.a.)	6.412	休場	6.367	6.402	6.458	0.056
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.247	休場	3.261	3.223	3.130	-0.093
	USD	1Year(p.a.)	3.576	休場	3.605	3.588	3.542	-0.046
株式	Bovespa指数	86,115.50	休場	84,547.06	83,288.13	83,118.06	-170.07	
CDS	CDS Brazil 5y	173.91	176.75	181.52	190.06	185.15	-4.90	
商品	CRB指数	201.982	201.256	201.602	202.103	203.254	+1.152	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは直近の安値を更新し3.56台後半まで下落。
- 週初のレアルは3.4710で寄り付き、直後に週間高値3.4690を付けた。週前半は引続き高水準で推移する米金利を背景に、ドルが主要通貨に対して上昇。レアルは3.55台へ下落した。その後、FOMCの結果を受けて一時的に下げ幅を縮めたが、大口の資金流出と思しきフローから再び売りが強まると週間安値3.5660まで下落。週末にかけてはイラン情勢を巡る地政学的リスクの高まりから原油相場が上昇したことでレアルは買い戻され、結局3.5290で越週。
- 30日に発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が2.75%、2019年が3.00%でそれぞれ据え置かれた。インフレ率予想は2018年が3.49%で据え置かれ、2019年は4.00%から4.03%へ上方修正。年末の為替レートは2018年が3.33から3.35へレアル安方向に修正され、2019年は3.40で据え置かれた。
- 2日、米FOMCが実施され、政策金利は市場予想通り1.50-1.75%のレンジで据え置かれた。声明文では、中期的に物価上昇率は2%近辺で推移することが見込まれ、政策金利を段階的に引き上げることが示唆された。次回の6月FOMCについて市場では0.25%の追加利上げが予想されているが、その後の利上げペース加速の有無に注目が集まっている。
- 3日、伯中銀は5月末に満期を迎える56.5億ドルのドル売りスワップポジションについてロールオーバーを開始した。金額は1日あたり4.45億ドルであり、5月末満期のポジションは全てロールオーバーされる見込み。
- 5日に発表された4月の米雇用統計は非農業部門雇用者数が16.4万人増と市場予想の19.3万人を下回った。失業率は3.9%と前月から低下し、2000年12月以来の3%台を付けた。平均時給は前年比+2.6%と前月の+2.7%から低下。発表直後は米金利が下げたことでドルが売られたが、直ぐに値を戻した。

3. 今週のチャート&ハイライト



伯中銀がドル売りの為替介入を示唆

2日のマーケット引け後、伯中銀は5月末に満期を迎える56.5億ドルのドル売りスワップポジションのロールオーバー開始を発表。加え、全ポジションをロールオーバーした後も同スワップの入札を続ける考えを示唆した。同額での入札が月末まで実施された場合、約28億ドル相当のドル売りが追加で発生することから、事実上の為替介入となる。但し、本件に伴って実際にドル売りが生じるのは5月末となるため、発表直後の相場への影響は限られた。レアル安によりインフレ懸念が高まる中、4日時点で金利先物市場は今月16日COPOMにおける0.25%の利下げを約65%織り込んでいる。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.50－3.60

来週のレアルは軟調な推移を予想する。来週米国では4月の消費者物価指数を含むインフレ関連指標が発表予定。米国のインフレ動向が注目される中、引続き高水準で推移する米金利を背景としたドル買い圧力が予想される。国内で新規の材料に乏しい中、レアルは軟調な推移が見込まれる。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	マーケット・ブラジルPMIコンジット	--	50.6	51.5
ブラジル	マーケット・ブラジルPMIサービス業	--	50.0	50.4
米	非農業部門雇用者数変化	193k	164k	103k
米	民間部門雇用者数変化	190k	168k	102k
米	失業率	4.0%	3.9%	4.1%
米	平均時給(前月比)	0.2%	0.1%	0.3%
米	平均時給(前年比)	2.7%	2.6%	2.7%
米	労働参加率	63.0%	62.8%	62.9%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	5/7	自動車生産台数	Apr	--	267460
ブラジル	5/7	自動車販売台数	Apr	--	207365
ブラジル	5/7	自動車輸出	Apr	--	67488
ブラジル	5/8	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Apr	0.60%	0.56%
ブラジル	5/8	FGV CPI IPC-S	May/7	0.32%	0.34%
米	5/9	PPI 最終需要(前月比)	Apr	0.2%	0.3%
米	5/9	卸売在庫(前月比)	Mar	0.6%	0.5%
ブラジル	5/10	IBGEインフレ率IPCA(前月比)	Apr	0.28%	0.09%
ブラジル	5/10	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Apr	2.64%	2.68%
米	5/10	CPI(前月比)	Apr	0.3%	-0.1%
米	5/10	CPI(前年比)	Apr	2.5%	2.4%
米	5/10	新規失業保険申請件数	May/5	218k	211k
米	5/10	失業保険継続受給者数	Apr/28	1800k	1756k
ブラジル	5/11	小売売上高(前年比)	Mar	5.3%	1.3%
米	5/11	ミシガン大学消費者マインド	May	98.3	98.8

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませ。宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。